

## 編集後記

2001年「新世紀」も後半に入り、いよいよ……夏本番です。

我々の大きな期待を担って小泉政権が発足し、3カ月を経過するところですが。弁舌さわやかに予算委員会を乗り切り、日米首脳会談を友好的に成功させ、いよいよこれからが本番です。既得権益構造を変革し、派閥政治を打破できるか。敢然とチャレンジすることで、未来が開けるものと思います。

プロ野球も開幕3カ月を経過しました。セ・パ両リーグとも一弱が際立ってきましたが、昨年の覇者はどうもピリッとしません。ジャイアンツも壊滅的な投手力でアップアップ状態…。イチローを始めとする輪出選手達の大リーグでの大活躍で、逆に日本プロ野球人気は凋落気味。メジャーリーグ放映の盛り上がり和小泉人気で政治番組が面白いというこ

とで、ジャイアンツの試合もテレビ離れが深刻となっているようです。

さて、本号の巻頭言は「ETCの今後の展開について」と題し有料道路のノンストップ自動料金収受システムについて国土交通省道路局有料道路課長・南部隆秋様からご専門の立場からご執筆を頂きました。

ずいそう欄は、「建設機械との三十余年」と題して佐藤成美様と「とまどいの三年」として毛利嘉之様のお二人から興味深い話題でご寄稿頂きました。

また、一般報文につきましては都合6編をご投稿頂きました。

まず、国内最大規模の機械化施工事例として、橋梁の施工事例2編とパイプ形ベルトコンベヤによる大量の土砂搬送の事例を紹介頂き、また技術開発事例として、埋設水道管更新工法および鉄塔生産システムにつ

いてそれぞれ開発と施工の報告を頂きました。メーカーからの技術報文として、積載型トラッククレーンの安全装置ということで、最先端の安全装置についてご紹介頂きました。

さらに、本号では、恒例記事となっている「平成12年度官公庁・建設業界で採用した新機種」について本協会建設業部会より報告を行っています。

ご多忙中にもかかわらずご執筆頂いた執筆者の方々には心から御礼申し上げます。

本号がお手元に届く頃は、参院選のホットな戦いの真っ只中、梅雨も明けて暑い日が続いていることと思えますが、会員および読者の皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(山口・梶岡)

No.617 「建設の機械化」 2001年7月号 [定価] 1部 840円 (本体800円)  
年間9,000円 (前金)

平成13年7月20日印刷 平成13年7月25日発行 (毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明 印刷人 山田純一

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内  
電話 (03) 3433-1501; FAX (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

建設機械化研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 (吉原郵便局区内)	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8 さつげんビル内	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1 二日町東急ビル	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5 白山ビル内	電話 (025) 232-0160
中部支	部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル内	電話 (052) 241-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27 大手前建設会館内	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22 築地ビル内	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 建設クリエイトビル内	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56 八重洲天神ビル内	電話 (092) 741-9380

印刷所 株式会社技報堂 東京都港区赤坂 1-3-6